

ASD・ADHD

の教育・支援での

ABAの活用と実践

2021

12/19 (日)

AM 9:30-11:30

(受付AM 9:00-9:20)

定員60名

定員になり次第募集を終了します。

・――・――講師――・――

ASD・ADHDの教育や支援の中では、広くABA（応用行動分析）の視点が活用されています。しかし、なんとなく活用しているために結果がでにくいことも多くあります。そこで、今回はABC研究所の今本繁先生に、実践するためのABAの活用のスタートの研修をお願いしました。この研修を通して、そのあとの研修と実践のきっかけにしていっていただきたいと思います。

対象：ASD（自閉スペクトラム症）・ADHDを支援する立場の方、関心のある方

参加費	一般	2000円
	宮崎支部会員	1000円
	他支部会員	1500円

・申し込みは右のQRコードからお願いします。

(先着順になります)

・申し込み確認後、メールにて振込先をお知らせします

※振込確認後、ZOOM ID・パスワードをお知らせします。

お問い合わせはTEACCHプログラム研究会宮崎支部事務局まで

teacch.miyazaki@gmail.com



ABC研究所代表

今本 繁 先生

合同会社ABC研究所代表。東京工科大学卒業後、ボランティア活動をきっかけに心理専門職を志し、複数の大学の研究生を経て、筑波大学大学院心身障害学研究科に入学、ABAの研究で知られる小林研究室で学ばれました。国立肥前療養所の心理療法士として勤務の後、ウェスタンミシガン大学で応用行動分析夏期研修、ノースカロライナ大学TEACCH部で1年間の研修を経験。帰国後、西南女学院大学講師を務めた後、2006年に絵カード交換式コミュニケーションシステム(PECS)の普及を目指し日本法人を設立。2017年合同会社ABC研究所を設立されました。

